

会 議 録

会議の名称	令和4年度 第2回笠間市男女共同参画審議会		
開催日時	令和4年10月5日(水) 午後1時30分～2時45分		
開催場所	笠間市役所教育棟2階 会議室2-2	事務局	市長公室秘書課
会議の公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <非公開・一部公開とした場合の理由>	傍聴者数	なし
出席者	委員：江田委員、森委員、中嶋委員、渡邊委員、仲田委員、田口委員、保坂委員、鈴木委員、井出委員、大久保委員 事務局：甘利課長、桑嶋係長、内藤 アールピーアイ栃木 森、岡田		
議題	(1) 市民意識調査等の結果について (2) 第4次笠間市男女共同参画計画骨子(案)について		
議 事 (審議経過及び発言内容)			
1 開会 2 会長あいさつ 3 協議事項 (1) 市民意識調査等の結果について 事務局 (資料に基づき説明) 質 疑 委員 意識調査の結果の中で、市として重要視している項目はあるか。 事務局 意識調査の結果でも、女性の活躍が必要であり、家庭においても家事・育児などを分担して男女共同参画を進めることが重要だという認識を持っている人が多いことがわかる。市としても重要だと考えており、取り組み自体は大きく変えない。 委員 無作為抽出の市民1,000人の内訳について教えてほしい。18歳以上の市民の人口と、無作為抽出者の年代別の人数を教えてほしい。 事務局 次回の審議会までに確認して報告する。 (2) 第4次笠間市男女共同参画計画骨子(案)について 事務局 (資料に基づき説明) 質 疑 委員 委員からの意見が活発に出ている。審議会前に各委員の意見を事務局で集約してはどうか。 事務局 次回の審議会に向けて検討していく。より良い意見聴取の方法を考えていく。 委員 基本目標3「すべての女性が輝く社会づくり」の施策1「ワーク・ライフ・バランスの意識定着と環境整備」とあるが、市民意識調査でワーク・ライフ・バランスの認知度が低いことについて市はどう考えているのか。 事務局 年代別で見ると若い世代の方が認知度が高く、年代が上がるにつれ認知度が低くなっている。 問2では「男女ともに仕事をし、家事・育児も分担する」と考える人の割合が高いことか			

ら、ワーク・ライフ・バランスという言葉は知らなくても、そういった意識を持っている人は多いと認識している。

委員 情報提供や情報発信はさまざまなツールを使い、若い世代にも届くような工夫をしてほしい。

委員 計画の中に用語解説のページを作ったほうが良いのでは。

委員 ダイバーシティに関して、昨年発行の広報紙で知った。このように広報していくことでダイバーシティの認知度も上がっていくと思う。

委員 基本目標 4 の施策 1-1「ダイバーシティ社会の実現に向けた意識啓発」と基本目標 1 の施策 1-1「男女共同参画社会の実現に向けた意識啓発」と表現しているのは、使い分ける意図があつてのことなのか。市の目指していることを分かりやすい言葉にするべき。

事務局 表現については、今後素案をまとめる上で検討していく。

4 閉会